

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第38号 2012年7月

ほたるの里バス見学会で、～長南町 ～いすみ環境と文化の里～へ行きました

梅雨入り宣言後の6月17日(日)、中房総にある長南町の植生川へ長南町生態系保全推進協議会(山内地区の農家の有志の方などによる協議会)を訪ねて、18人のホタルメイトで出かけました。

当会の団体会員でもある、CAC スイミングスクール勝田台様の協力でマイクロバスを利用でき、安全で快適なバス見学会が実施出来ました。

今回訪問した長南町は、当実行委員会が2004年度と2010年度に「ちばホタルマップ」を作成する際に、長南町役場産業振興室よりホタル等の生態系保全を主とした事業などの資料をお送りいただいていた。これらの資料を拝見して、長南町ではどのような取り組みが行われているのか? また八千代市のほたるの里の保全活動のヒントを見つけないと企画しました。

八千代市を離れ、茂原市を通り長南町へ近づくにつれ、車窓からは目にも鮮やかな緑一色の世界が広がります。長南町役場に到着すると、産業振興室の牧野氏と宮崎氏がお迎えしてくださり、協議会の活動現場の山内地区に向かいました。

現地では、牧野氏から「生態系保全型水田整備事業 植生川Ⅲ期地区のほ場整備事業」の経緯をお聞きしました。圃場整備事業を実施する前の3年間、専門家、地域、行政等で生きもの調査が行われました。その調査の結果、多くの動植物が

生息していることが分かり、ゲンジボタル、ドジョウ、カエル、サシバ等を保全対象種としたそうです。圃場整備では、生きものの保全を重視し河川の場所を動かすに伴い、タニシ、カエルの卵等田や川にいる生き物、小石等を採取して移動したそうです。河川は、木枠の水路、脱出スロープ木枠、玉石付き魚道などの工法で作られました。その効果か、ゲンジボタルは整備前より多く飛んでいるとのことでした。

協議会では、整備された田んぼなどの維持管理や学校などと自然観察会やホタル観賞会等の事業を実施されています。竹林会長は「ホタルが飛べる環境をつくるのが重要で、協議会の方が現場によく足を運んで地域を周知しているので、生き物や地域の変化等細かく対応が可能だ」と話されました。



長南町での説明風景

生態系保全型水田整備事業をここまで実施出来ることは、千葉県内でも素晴らしいモデルだと実感しました。牧野さんからは、「協議会、農家の方等の強力なサポートがあるからこそここまで出来た」とのことでした。13日から17日まで、「ホタルまつり」が行われ、多くの人が来ているそうです。来年は、飛んでいるホタルを見たい!と思います。その後、熊野の清水でお弁当を食べて、「いすみ環境と文化のさと」、「むつざわ道の駅」に立ち寄り、車中では、やちよのほたるの里について、熱く意見交換しながら帰路に着きました。(文責 広報部 桑波田)

24年度ホタルメイト団体 私たちはほたるの里を応援しています!

石井食品株式会社

NPO法人高齢者福祉ネット

NPO法人子どもネット八千代

NPO法人八千代オイコス

ガールスカウト千葉県第57団

共栄物流株式会社

クボタ環境サービス株式会社

斉藤鑿泉管工

八千代ホタルフォーラム

有限会社 A 米本団体自治会

ほたるの里の現況と展望

私たちの持続可能な生活を考える時、生物多様性の問題は、医、食、住の生態系サービスに留まらず、災害の減災や大気環境の調整等、人間の生存基盤にとって重要であることを改めて強く感じます。そして、生物多様性の保全を考える時、地域固有の生態系の保全は、とても重要なことと思われま

す。私たちが日頃、環境整備を行う「ほたるの里」は、比較的狭い面積の中に池、湿地、水路、草地、樹林のそれぞれの環境タイプの場所が散在しており、動植物の種類・量も相当数に上るものと思われま

す。また、周辺の開発が進む中で、貴重な緑のネットワークの一部を形成し、多くの動植物の命を支えている場であると考えられます。しかし、残念なことに、近年、「ほたるの里」では、その象徴種であるホタルの自然発生が困難な状況となっています。このため、ほたるの里づく

り実行委員会では、平成 22 年度から、「ほたるの里」でのホタルの自生を目指して、ホタルハウス内でのホタルの育成や、湿地での田植えに取り組んでいます。

現在、ホタルハウスでは、ホタルの一連の生活史（ホタルの卵のふ化から幼虫、蛹、成虫の産卵まで）が完結するよう、「ホタルの幼虫」の餌の稚貝や、天敵、温度管理、水路の流況、流底や岸部の土壌状態、成虫の休憩場所等について検討し順応的管理を進めています。また、湿地においても、ホタルが生活史を完結できるような環境づくりの一環として田植えを続けて行っています。まずはホタルハウス内でのホタルの自生、そして、やがては湿地で多くのホタルが自生し、飛翔することを目指して地道に取り組んでいきたいと考えます。

そして、今後も「ほたるの里」が、より質の高い生物多様性のモデル地域となることを目指して進んでいけたらと考えます。（文責 管理部 関）

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第 15 回総会を開催しました

4月7日（土）に第15回ほたるの里の総会が行われました。加藤会長からは昨年度チャレンジして出た課題に対し今年も挑戦すると話があり、管理部会からは昨年度行った環境整備やバス見学会等について報告がありました。また、今年度は湿地での田植えを本格的に行うこと等、平成24年度事業



第 15 回総会風景

計画（案）の提案があり異議なく承認されました。

総会後には、ほたるの里の役員で自然観察指導員でもある森さんに村上緑地公園内の春の植物を紹介してもらった後、14人のホタルメイトとともに、春の植物を観察し、昼食を食べました。カントウタンポポ、村上七福桜等を晴天のもと観察することもでき、春の訪れを感じることができました。

（文責 広報部）

参加者：35人 場所：八千代市郷土博物館

- 議案：①平成23年度事業報告
②平成23年度会計報告及び監査報告
③役員を選出
④平成24年度事業計画（案）
⑤平成24年度予算（案）

24年度 新規ホタルメイト加入団体

私たちはほたるの里を応援しています！

トーネット株式会社

家庭の冷暖房から店舗の冷凍・冷蔵設備設計施工まで電気工事ならなんでもお任せ

日産自動車八千代営業所各支店

未来の運ぶを考える

有限会社 ふれあい総合企画

私達は保険業務を通して人と人の信頼の輪を創りたいと考えています

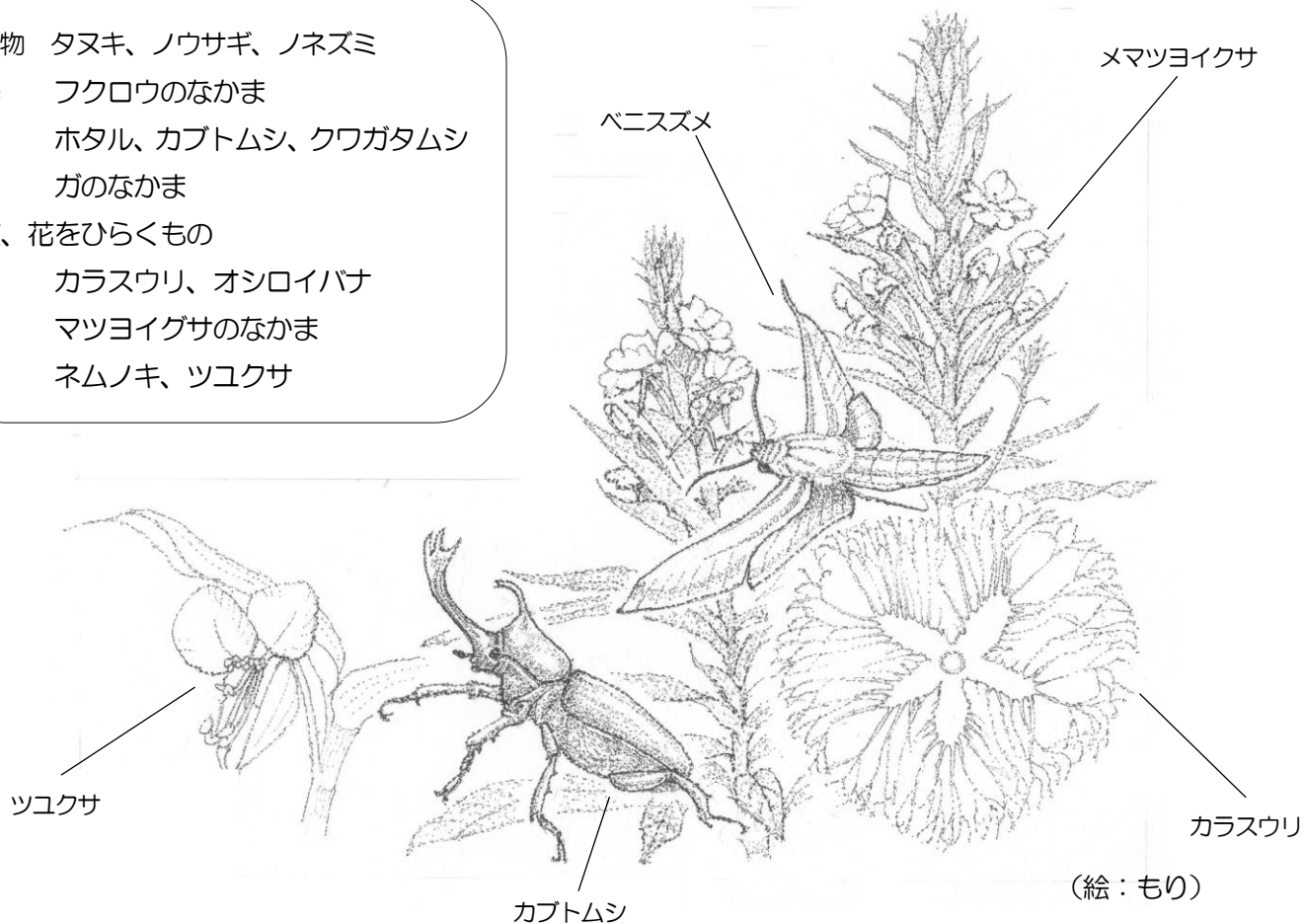
CAC スイミングスクール勝田台

水泳を通して心と体の情操教育を育む

～きっずコーナー～

夜になると、元気にうごきだす生きものはたくさんいるよ。
八千代市で見られるおもなものをとりあげてみました。

- 動物 タヌキ、ノウサギ、ノネズミ
鳥 フクロウのなかま
虫 ホタル、カブトムシ、クワガタムシ
ガのなかま
夜、花をひらくもの
カラスウリ、オシロイバナ
マツヨイグサのなかま
ネムノキ、ツユクサ



上総掘りとは

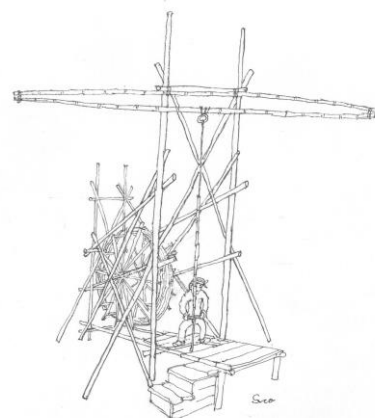
今、八千代市内の桑橋の東邦大学グラウンド横で上総掘りが行われています。「上総掘り」は、江戸時代後期に上総地方に伝わった鉄棒を利用した突き掘り技術を工夫・改良しつつ考案された井戸掘り技術です。

明治時代中頃に上総地方で考案され、日本各地に出向いて掘削し広めていったことからその名称があります。上総地方は地形的に灌漑用水の供給には難があり、慢性的な水不足でした。そういったなか、農民の水田作りに対する強い願いがこの掘削技術の開発、普及に役立ちました。生活用水や農業用水で井戸に利用されているほか、明治時代には新潟県や秋田県での石油掘削に使われ効果をあげました。また、大分県別府市ではこの技術が導入されて

温泉掘削が盛んとなり発展しました。

また、八千代市環境保全課では小学4年生以上の市内の小学生を対象に東邦大学桑橋グラウンド横の上総掘りを実際に体験して、水循環を学習する「子ども環境教室」の開催を夏休みの期間に予定しています。ふるってご参加お待ちしております。

(文責 広報部)



(絵: もり)

24年度 新規ホタルメイト加入団体 私たちはほたるの里を応援しています!

Kid's ☆garden

民間保育と幼児教育の併設施設楽しく遊び学べるお子様にとって安全な保育園

Take まつげ専門店

きれいをより美しく演出する



7～9月のスケジュール

ほたるの里づくり実行委員会からのお知らせ

環境政策室からのお知らせ

◆夜の生き物観察会◆

ふるさとステーションに集まり、新川沿いの遊歩道からほたるの里を通る「夜の生き物観察会」の開催を予定しています。ぜひご参加ください。

日時：8月4日（土）午後6時30分～午後8時

集合場所：ふるさとステーション

対象：ホタルメイトまたはホタルメイト加入希望者
先着20人

費用：保険代として50円

★ 里の環境整備

ほたるの里で、生きものが棲みやすい環境づくりをしています。主にヘイケボタルの水路づくりをします。たくさんのご参加をお待ちしております。

日時：7月21日（土）及び8月25日（土）

午前9時から11時ごろ

9月22日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：長袖、長ズボン、長靴、帽子、飲み物
軍手、汚れてもよい服装で

■ホタルを守るための ザリガニ釣り大会

ほたるの里でザリガニ釣りを行います。入賞者にはプレゼントあり！ 家族でご参加ください。

日時：8月25日（土）午前9時から11時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：釣竿、エサ、バケツなど

注意：暑いので帽子や飲み物など、



各自で暑さ対策をして下さい。

費用：保険代として50円

申込：7月1日から市役所環境保全課、Tel 483-1151

ほたるの里作品展を開催します

今年も秋（10月、11月）にほたるの里作品展を予定しています。9月末に作品募集をしますので、ほたるの里、ホタルに関する作品を是非皆様ご応募下さい。

里山の生き物展開催！

八千代市郷土博物館（村上）で、八千代市環境保全課・郷土博物館共催で里山の生き物展と昆虫観察会を開催いたします。カブトムシ、アライグマのはく製などの展示を予定しています。ぜひご来場ください。

里山の生き物展期間：7月26日（木）～

8月2日（木）

場所：八千代市郷土博物館（7月30日休館）

八千代村上1170-2 ※イズミヤから徒歩1分

◎ 昆虫教室

郷土博物館近辺で、昆虫観察をします。親子でも参加できます。

日時：7月31日（火）午前9時～正午頃

対象：市内の小学4年生から大人の方 先着20人

費用：保険代として50円

申込：7月1日から市役所環境保全課

Tel 483-1151へ

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、市環境保全課窓口、イベントまたは里整備時に受け付けているほか、お近くの郵便局でも郵便振替で納入していただくことができます。

郵便局でお振込の場合

振替手数料 ATM：80円

窓口：120円

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

【ほたるの里の連絡先】

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課 内

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyoul@city.yachiyo.chiba.jp

【編集】

広報部会 事務局